

人口減少時代の地域活性化・コミュニティ維持

1 「人口減少」の進行に備えるために

■「人口減少地域活性化対策モデル事業」の取組

➤人口減少地域の活性化・コミュニティの継続性に向けた方策を検討

【課題】

- ◎確実に進む人口減少への対応
- ◎地域によって異なる人口減少の要因・状況の把握とその対応
- ◎人口減少に伴う地域経済の鈍化、地域コミュニティの存続危機への対応

【取組】

- ◎4つの特徴的な人口減少地域をモデル地域とし、地域活性化やコミュニティの継続性を図るための方策を検討・実践するモデル事業を実施
- ◎「持続可能な地域づくり」につなげるため、地域が主体となり、地域住民自らの手で検討・実践を行う。

(モデル地域)

- ①長糸地域 (農山村) ②福吉地域 (漁村)
- ③桜野地域 (農村+漁村) ④加布里 (浜の園団地) (旧開発団地)

➤これまでの経過

【平成28年度】

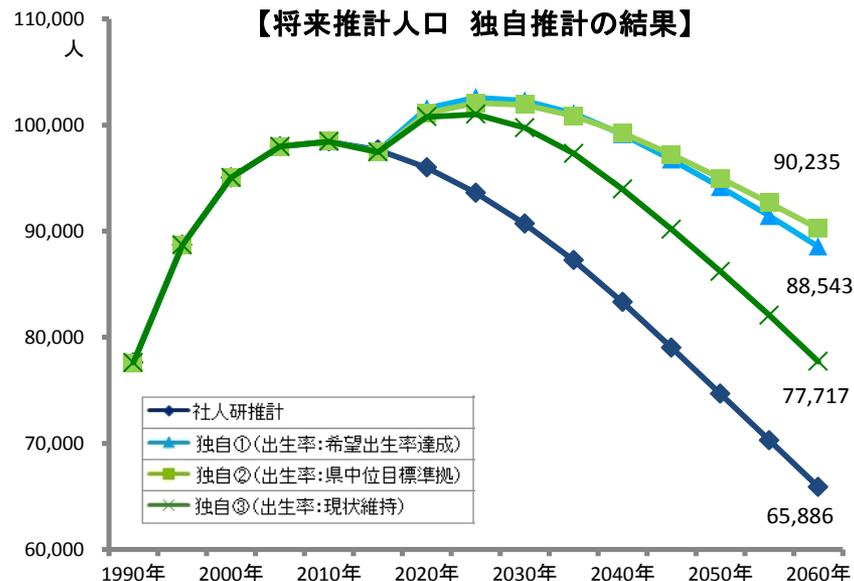
- ◎H27国勢調査の結果、福岡都市圏の市で唯一の人口減少地域となる
- ◎検討・研究開始(他自治体への視察等研究など)
- ◎人口減少モデル4地域を選定し、調査・研究を行うことを決定

【平成29年度】

- ◎各モデル地域に担当職員を配置、地域と協議を開始
- ◎持続可能な地域づくりに向け、コミュニティビジネスに視点を置いた補助制度を構築

【平成30年度】

- ◎各地域で、今後の取組の方向性・体制等を検討
- ◎コミュニティビジネスなど「持続可能な地域づくり」に向けた、具体的な事業を各地域で展開
- ◎事業実施を経て、今後の取組の方向性を取りまとめ



↑「まち・ひと・しごと創生 糸島市人口ビジョン(H28.3策定)」より

2 各地域の取組①

■長糸地域(農山村)

【取組内容】

◆竹林整備事業

- ・タケノコが採れる美しい竹林を整備することで、地域の高齢者の働く場の確保や生きがいがづくり、環境整備を進めるとともに、自ら稼げる地域になることを目標とする。
- ・活動を行う上での安全講習をはじめ、古竹を竹チップにして販売、幼竹を塩漬けしてメンマとして販売するなどの活動を実施。

【今後の方向性】

- ・整備が進みタケノコが生産できるようになれば、販売を行う。
- ・売上金で活動と雇用を拡大する。
- ・収穫体験実施等によりPRを行い、応援隊や移住者の増加につなげていく。



■福吉地域(漁村)

【取組内容】

◆親子で楽しむ 福吉「朝めし」体験ツアー

- ・福岡都市圏の子育て世代を対象に、福吉の魅力を経験してもらい、ファンを増やす。
- ・福吉公民館、福吉漁港、福ふくの里で、朝めしづくり体験、ワカメの水揚げ見学、カキ磨き体験などを実施。
- ・福吉観光マップなどを配布し、再度福吉を訪れてもらうきっかけとする。

◆福吉人(ふくよしびと)紹介コーナー

- ・福吉の“ひと”の魅力を通じて、福吉製品の価値を高め、農漁業従事者の収入増加に繋げるため、福ふくの里に専用ブースを設置。地域内外の人に関心を持ってもらい福吉ファンを増やしていく。

【今後の方向性】

- ・「朝めし」体験ツアーの実施により参加者ニーズや受入体制などを検証。事業主体を明確にして、体験型イベントを継続して実施していきけるような仕組みを構築する。
- ・紹介した福吉人と地図、福吉の年間イベントなどをまとめた「福吉人図鑑」を作成し
- ・「福ふくの里」を起点として福吉を周遊してもらうことができるように、今後も継続して福吉の“ひと”の魅力の取材、紹介を行う。



3 各地域の取組②

■桜野地域(農村+漁村)

【取組内容】

◆空き家活用促進事業

- ・空き家所有者、空き家予備軍に対して空き家の活用を促し、移住希望者の受け皿づくりを進める。
- ・移住希望者と空き家のマッチングの際、校区のリアルな情報を伝えることで移住後の不安や不満等の発生を未然に防ぐ。
- ・『空き家予防セミナー』『空き家活用個別相談会』の実施

◆農業収穫体験事業

- ・ニンニク収穫体験&ガーデンパーティを実施し、桜野の自然に触れてもらうことで癒しを提供し、地元住民との交流により桜野ファンを増やす。

◆情報発信事業

- ・フェイスブック、インスタグラムなどで身近なイベント情報などを発信していく。
- ・桜野の自然・食・観光情報とともに、元気づくりの取り組みを発信し、「関心」から「交流」につなげる。

【今後の方向性】

- ・ホームページを構築して空き家情報を発信し、移住意欲を高めて定住促進を図る。
- ・引き続き空き家所有者向けの取り組みを展開しながら、移住相談会やトライアルステイ等、移住希望者向けの取り組みを実施していく。
- ・参加費を徴収するイベントやトライアルステイ等、収益事業の実施によって財源確保に努める。



4 各地域の取組③

■加布里(浜の園団地)(旧開発団地)

【取組内容】

- ◆加布里小コミュニティスクール事業の一環として「加布里っ子と学習・給食」の実施
 - ・加布里小児童と一緒に授業を受け給食を食べる取組に、浜の園団地のシニア等が参加
- ◆浜の園団地住民による夏祭り開催
 - ・地域の子どもたちとシニアが交流を深めた。
- ◆浜の園団地住民同士の意見交換会の実施
 - ・シニア世代、子育て世代、行政区長、市等による意見交換会を実施
→取組のヒントとして、浜の園団地の子育て世代へのアンケート調査実施を企画
- ◆浜の園団地の子育て世代へのアンケート調査
 - ・アンケートの結果、子どもに時間をかけられないことや、子どもの安全・安心な居場所の確保などへの心配があることが分かった。
 - ・あったら良い仕組みとして、「放課後の預かり、見守りのサポート」、「多世代での交流・学び・体験の機会」が多数挙げられた。

【今後の方向性】

- ・子育て世代からニーズの高かった「多世代での交流・学び・体験の機会」「放課後の預かり、見守りのサポート」を中心に、取組のアイデアを有志で検討し、できることから始める。また、必要な場合はファミリーサポート制度の活用も含めて検討する。



◎現在、本市の人口は全体として増加傾向が見られるが、地域によって人口異動に差があり、減少が著しく進む地域もある。

◎こうした人口減少地域の実情と減少の要因を掴み、地域の活性化とコミュニティの維持を図るため、地域の皆様とその対策を検討し、実践に移してきた。

◎今後、各地域の取組結果について検証を進め、「第2次長期総合計画」の人口減少対策の施策・事業に反映して、市全体の取組に広げていく。

◎いずれ訪れる全体的な人口減少に備え、各地域で「持続可能な地域づくり」の基盤づくりを行いたい。

